

第 36 回外国人による日本語弁論大会 開催要領

1. 主 催

公益財団法人 沖縄県国際交流・人材育成財団

2. 共 催

沖縄県
沖縄テレビ放送株式会社

3. 後 援

一般財団法人りゅうぎん国際化振興財団
沖縄県教育委員会
公益財団法人沖縄県文化振興会
在沖米国総領事館
独立行政法人国際協力機構沖縄センター

4. 協 賛

沖縄セルラー電話株式会社
沖縄ツーリスト株式会社
オリオンビール株式会社
株式会社沖縄ファミリーマート
日本トランスオーシャン航空株式会社
琉球ゴールデンキングス

5. 協 力

パレットグループ

(五十音順)

6. 開催趣旨

県内に在住する外国人に、国際交流・国際親善・相互理解・日本や沖縄の文化等について日本語で意見を発表する機会を提供し、異文化理解と共生の精神及び国際社会のあり方をともに考え、相互友好の一助とする。

7. 日 時 2019年2月9日(土) 13:00~16:30 (開場 12:30)

8. 場 所 パレット市民劇場 (那覇市久茂地 1 丁目 1 - 1 パレットくもじ 9 階)

9. 内 容 趣旨に添った内容で、演題は自由 (伝道、宣伝は不可)

10. 参加資格

- (1) 県内に在住する外国人で、母語が日本語以外の者
- (2) 大会開催当日の年齢が満 15 才以上の者
- (3) 過去の本大会において沖縄県知事賞 (最優秀賞)を受賞していないこと
- (4) 作品は他の大会等 (本大会へ出場するための予選的な大会は除く) で未発表の創作に限る

11. 審査委員 学識経験者等 7 名以内とする。

12. 審査基準 内容 50 点 / 表現 50 点

13. 制限時間 1 人 7 分以内とする。* 制限時間を超過した場合、減点の対象となる。

14. 参加申込

- (1) 申請受付期間中に財団国際交流課ホームページ (<http://kokusai.oihf.or.jp>)内にある
所定のオンラインフォームに必要事項を入力し、原稿（日本語による作成、A4 サイズ）とプログラム用ス
ナップ写真をアップロードの上、応募すること。
- (2) 原稿はタイプで作成し、応募者の名前で保存した PDF ファイルを、アップロードすること。
- (3) 原稿の長さは問わないが、弁論時間が 7 分以内になることを想定の上、作成すること。
- (4) スナップ写真は JPEG でアップロードすること。
- (5) 参加申込の受付は、**2019 年 1 月 10 日（木） 17 時**までとする。

15. お問い合わせ先 (公財) 沖縄県国際交流・人材育成財団
〒901-2221 宜野湾市伊佐 4 丁目 2 番 1 6 号
TEL : (098) 942-9215 / FAX : (098) 942-9220
E-mail: kokusai@oihf.or.jp HP: <http://kokusai.oihf.or.jp>
担当 : 国際交流課 葛 (かつら) ・長濱 (ながはま)

16. 出場者数 12 名以内とし、応募者が多数の場合は、主催者において審査委員会を設け
書類審査を行い、本大会出場者を決定する。

17. 表 彰

| | |
|---|---|
| 沖縄県知事賞 | 沖縄県知事の賞状とトロフィー、また (公財) 沖縄県国際交流・人材育成財団より JCB ギフトカード 2 万円分と協賛団体より副賞を授与する。 |
| 沖縄県国際交流・ 人材育成財団理事長賞 | (公財) 沖縄県国際交流・人材育成財団の賞状とトロフィー、JCB ギフトカード 1 万 5 千円分と協賛団体より副賞を授与する。 |
| 沖縄テレビ賞 | 沖縄テレビ放送株式会社の賞状とトロフィー、また (公財) 沖縄県国際交流・人材育成財団より JCB ギフトカード 1 万円分と協賛団体より副賞を授与する。 |
| 審査員特別賞 | 審査員長が特に必要と認めた弁士に授与する。(公財) 沖縄県国際交流・人材育成財団より賞状と協賛団体より副賞を授与する。 |
| 奨励賞 | (公財) 沖縄県国際交流・人材育成財団より賞状と協賛団体より副賞を授与する。 |
| 出場者全員に沖縄テレビ放送株式会社より記念品を進呈し、協賛団体より副賞を授与する。 | |

18. その他

- (1) 出場者には、自宅から会場間の交通費相当分として Quo カード (1,000 円分) を支給する。
- (2) 提出原稿は返却しないものとし、大会後入賞者には電子原稿の提出を依頼する場合がある。
- (3) 発表順は、主催者の抽選により決定する。
- (4) 本大会におけるスピーチの著作権は (公財) 沖縄県国際交流・人材育成財団に帰属する。
- (5) 個人情報には「外国人による日本語弁論大会」実施目的のために使用する。また、本大会出場者の氏名、国籍、所属、写真、スピーチ等は、フェイスブックや大会プログラム、宣伝、機関誌等にて公表する。